

様式例第3号

「第2次朝来市健康増進計画（後期）・第3次朝来市食育推進計画(素案)」に関するパブリックコメントの結果		
意見等の募集期間	令和3年1月22日～令和3年2月12日	
意見等の受付件数	2人	5件
提出方法の内訳	郵便 1人 電子メール 1人	ファクシミリ 1人 持参 1人
実施機関(担当課等)コメント		
地域や団体、事業者、行政等が連携・協力を図り、市民の健康づくりの実践に繋がっていくように努めます。		
提出された意見等の概要 (類似する意見については、取りまとめて掲載しています。)		
番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
1	子どもたちの視力の低下について、危機感を持って扱っていく必要があるように思います。テレビゲームや携帯ゲームに長時間夢中になる子どもたちが増えており、さらにスマートフォンの画面を長時間見ていたり、動画サイトに熱中するなど、中高生の生活習慣の変化もあり、若年層の視力低下は全国的に社会問題となっています。家庭でも必要ですが、特にこども園や小、中学校において、子どもたちの視力を守るための取組を早急に進めていく必要があるように思います。本計画では全く触れられていないように思いましたが、今後の課題として取り上げる必要はないでしょうか。	計画第4章 基本目標1(2)次世代の健康を育む保健対策の充実の《個人・家庭》での取組としてテレビ等の視聴時間を決めることと記載をしていますが、行政・教育機関の取組として、保護者や児童・生徒に対し、さらに、さまざまな機会等を通じ働きかけていく旨、明記し取組を進めていきます。
	喫煙について。アンケートでもわかるように、家族や大人が未成年に喫煙をすすめるケースがすくなくならずあるようです。喫煙する未成年に注意するどころか一緒に吸っている大人もいるようです。喫煙者にとっては仲間が増えて嬉しいのでしょうか。子どもたちや若い方たちは喫煙を格好の良い、大人っぽい行為と思っています。喫煙者の中にもそのように思っている方がいるようですが、喫煙は決して格好の良い行為ではありません。受動喫煙、副流煙だけではなく、喫煙者の衣服や頭髮などに付着した臭い(煙)は他者にとって大変不快であり、頭痛や喘息、鼻腔炎の原因になることもあります。これを残留受動喫煙、また三次喫煙と言いますが、これについても明記するべきではないでしょうか。 喫煙は非喫煙者に対し、健康被害、ストレ	御意見をいただきました「たばこ」に関する事項については、具体的な内容となるため、計画書に記載はせずに、保健事業や学校等での啓発、市広報、ケーブルテレビなどでの啓発など、さまざまな機会や方法について検討を行い、市民の方と一緒に取組を進めていきたいと考えております。

	<p>スなど大きな負担と迷惑をかける行為であるということをもっと明確に記すべきだと思います。特に子どもたち、未成年に対しては、喫煙は格好の良い「大人の嗜み」などでなく、ニコチン中毒による「迷惑行為」である側面をはっきりと伝えるべきだと思います。</p>	
2	<p>横文字（カタカナ）が多いと感じました。世の中の流れではありますが、医療用語の部分ではカタカナの言葉が多く、分かりにくいのではないかと思います。</p>	<p>カタカナは、極力少なくするように心掛けており、周知・啓発の際には配慮が必要と考えています。 カタカナでしか表現できない文言や、通常良く使われている文言などはカタカナ表記をしており、説明が必要な単語については、用語説明をつけています。御理解いただきますようお願いします。</p>
	<p>一番後ろに注釈としてまとめてあるのも大切ですが、最初に出てきたカタカナ文字に対しては、「フレイル（加齢により心身が老い衰えた状態のこと）」のようにその場で簡単な日本語の説明があるともっと良いのではないかと思います。</p>	<p>用語の解説について、説明が必要と思われる用語については、詳しく説明ができるように用語解説欄に記載をさせていただいております。</p>
	<p>P49の目標値について 幼児と同居している成人の喫煙率、2025年目標値が34%となっています。2020年までの割合から目標値が出されているとは思いますが、0歳～64歳の男女の喫煙率の目標値が5～12%となっているので、出来ればもう少し低くしてほしいと思います。赤ちゃんや幼児の受動喫煙やたばこの誤飲を防ぐためにも、よろしくをお願いします。</p>	<p>喫煙率については、健康増進の観点では、0.0パーセントに近づくほど良い傾向と考えます。目標を設定しました時点の現状値から設定をし、今回の中間評価時点で達成ができておらず目標は変更しておりません。しかし、目標値以上に喫煙率が低下するように取組んでいきたいと考えております。</p>